



東京会工だより

No. 5

平成15年4月20日発行 東京会工事務局 川崎市中原区土平間2079-1(ニッポ一産業(株)内) TEL044-544-0811

会津工業高校と東京会工の歴史



東京会工会長

赤津 仲雄
(25年C卒)

会津工業高等学校創立百周年記念式典は、平成十四年十月二十六日(土)午前十時より、会津風雅堂で開催されました。熱気と活気から醸し出された雰囲気の中で、在学生は、今日の感激を未来の夢に託しながら、卒業生は、百年の長い年月に己を求めその姿を愛でながら、然も肅然と進行して、目出たく終了致しました。

式典はとかく形式が先行し、鹿爪らしく経時を待つことが多いのですが、それを全然感じさせず、百年の歴史を呼びおこす効果がありました。シナリオは誰が作ったのかなとか、舞台効果は誰が演出したのだろうと楽しく回想を巡らせました。

「世紀を越えて」「会工賛歌」の発表がありました。歌詞の結びを「会工さわやかに」「会工うつくしく」「会工たくましく」とまとめてあります。教育目標にせよ、それぞれの人生目標にせよ、これからの社会に対応していくための必須事柄と考えられることをさりげなくまとめています。

記念行事には、記念式典の前後に、前祭り、後祭りを数多く配し、記念事業では、同窓会館の建設(鶴翔会館と命名)をメインとして、多くの事業を計画通りに達成しています。

百周年記念を目標に高く掲げ、幅広く・奥深く意見を求めて、コンセンサスを調整・まとめあげて、方向を定めた計画を設定し、百周年記念事業、行事を執行された、吉田会長、八巻学校長先生を始めとする実行委員会それぞれ

れの事務局・事務担当者の方々に、在籍した一人として、心から感謝のお礼を申し上げます。

国内の高等学校で、関連部門との関係を調整して組織化を計り、この様な大きな規模の事業を執行出来る学校は数少なく、非常にホコリ高く感じます。会津工業高等学校の起源は、会津藩の産業振興政策として、大工・漆工業・窯業などの地場産業に、計画的・組織的に徒弟制度が導入されたことに始まると聞いています。

草創期の徒弟制度から、窯業・漆工・染織、で福島県立工業学校が設立されて百年の歴史を考えると、社会が、国家が、学校教育に求めてきたものに、充分対応してきたからだと思えます。

東京会工会は、一昨年前にかぞえ年で九十周年行事を行いました。いずれにせよ十年後には百周年を迎えることとなります。百周年記念を考えますと、説明できない歴史の重みがズッシリと感じます。

昨年創立百周年記念にあたるために役員改選を延長してきましたが、行事、事業も盛会に終了しましたので、役員改選の年度になります。ひつじ年も六度目を数えると、バイタリテイの維持と体長の調整が難しくなり、マンネリズムの自覚症状を感じるようになったので、会長を辞退致したく申し出ましたところ、板橋、管家両副会長からも同様な申し出がありました。役員として参画して十数年になりますが、会の運営も安定した方策が定着しています。然し会の性格上どうしてもボランティア的な個性の協力と、個人が持つている協力できる環境に依存しなければならぬものがあります。事務所、事務員、事務処理機械がこれに当たります。また、先輩、後輩の序列は組織の構造的要因であり、人事は組織の機能要因と考えて役員候補者を推薦しました。会長、荒井士郎、副会長、岡島文弘、金子昌輝、五十嵐清夫、幹事長、五十嵐昭夫、副幹事長、石綿弘、伊藤孝行として、現行役員も含めて欠員、補充については、執行部三役で検討することで合同役員会の賛同を得ました。

東京会工会のさらなる発展を期待してやみません。

桜の咲く季節



金子 昌輝

(35年A卒)

東京会工会幹事長

会報発行お目出度うございます。関係された方々のご苦勞に対して、心よりお礼申し上げます。今年も三月三日に春一番があつた。相前後する事三日間の強風と共にである。毎年その様にして三寒四温を繰り返しながら春は来るのである。この時期、誰もが体調を崩しやすい(恥ずかしながら私も二ヶ月近くも風邪が治らず苦勞しました)。桜の開花は、三月二十七日であると気象庁が発表した。四月の第一土、日曜日が開花になる事になり、またぞろ、世の人浮かれだし、乱痴気騒ぎを演じることだろう(かくいふ私も待ち人の一人だが)。

昔から桜には縁があつたのだろう。いくつ頃、たつたか、鶴ヶ城再建の前、苔むした石垣の上にゴザを敷き、花見をしたことを憶えている。

私の就職した会社が、上野恩賜公園に、5分という立地から、社員同士は勿論、良く花見ができた。以後花見は欠かしたことがない。建設業に就職したのだが、それが毎日珍しい事ばかり、変化に富んだ仕事で、よそ事を考える暇もなく、すぐ数年が過ぎてしまった。三十八年にどうした風の吹き廻しか、どの様な経過の元であつたか、東京会工会へ出席した。勿論知人は無し。同じテーブルに二年後輩のM卒の佐々木君が居り、来年も必ず出席しようと、友とした。

そのようにして知人が増えていった。最初はそれなりの参加者もあり、すばらしい会合に誇りも感じていた。しかし、時節がそうしたのか、他のこういつた会もそうだったのか、参加者が少なくなつてきた。井上会長の時代になつても、その傾向は続き、会長の苦勞は並大抵でなく、どうしたら良いのか、思案投首となり、万策尽きるとはこんな事なのかと教えられた。遂には、休会宣言が飛びだしてしまつた。ながい時節を経て、大変な苦勞の後、室井会長が誕生しました。補佐する役員も若い人に一新され、昔日の賑やかさに戻つてきた。

今、赤津会長となり、更に役員若返りがあり、母校百周年事業に協力までできた。佐藤会長の時代を想い、会の現状運営を見る時、会議の雰囲気、会の性格共に、変わつてきていると思う。トロイカ方式とでも言うのか、協議指導体制になつてきたという事で、行事もスムーズにこなし、柔軟で自由な感じがする会は、今迄とやはり違う。そして、平成十五年、役員改選の年に当たり、更に新しい組織に変えようと幹事会で計画検討し、今年の役員合同新年会で諒承されました。そして、今年六月の総会から、荒井士郎氏が新会長になる予定です。

副会長、幹事長も大きく入れ替わり、若くて元気な新執行部による会運営となります。荒井氏は、今まで無かつた若い会長と思われませんが、心配はご無用です。というのも、ここ数年、新執行部予定のメンバーで取り仕切つていたからです。むしろ、彼らに氣安く応援する事によつて、今後の会工会運営に広がりを持たせると思われます。

今後益々東京会工会が、発展するように、会員の皆様には絶大なご協力をお願いするものであります。

東京会工会の活動

一、平成十四年度会務報告

- (1) 四月二十五日
 - ・ 役員会(ふくしま会館)出席19名
 - ・ 総会準備・報告案検討・役割分担
- (2) 五月十二日(日)
 - ・ 郡山会工会総会(郡山市) 赤津会長
- (3) 六月二日(日)
 - ・ 東海会工会総会(名古屋) 板橋副会長
- (4) 六月二十二日(土)
 - ・ 東京会工会総会(上野精養軒)
 - ・ 来賓五名、会員八十九名出席
- (5) 六月二十三日(日)
 - ・ 近畿会工会総会(大阪市) 赤津会長
- (6) 七月十二日(金)
 - ・ 役員会(ふくしま会館) 11名
 - ・ 総会反省
 - ・ 会工創立百周年記念事業
 - ・ 芋煮会
- (7) 九月十二日(木)
 - ・ ゴルフ大会(栃木ヶ丘G.C.) 20名
- (8) 十月十三日(日)
 - ・ 芋煮会(東京サマーランド)
 - ・ 出席会員40名 同伴者17名
- (9) 十月二十六日(土)
 - ・ 会工創立百周年式典(会津風雅堂) 出席27名
- (10) 十一月十六日(土)
 - ・ 本部同窓会(会津若松市)
 - ・ 荒井士郎 芳賀勝義 出席
- (11) 十二月七日(土)
 - ・ 役員会(ふくしま会館) 出席11名
 - ・ 合同新年会 ・ 役員改選

(12) 一月二十五日

- ・ 顧問・幹事合同役員会(京橋 美々卯) 出席26名
- ・ 平成十五年活動計画
- ・ 役員改選

二、平成十五年活動計画(案)

- (1) 四月中旬「東京会工会だより」発行
- (2) 五月二十四日(土)
 - ・ 地引き網&バーベキュー(三浦海岸)
 - (詳細は5ページ下段参照)
- (3) 六月二十八日(土) 十二時〜
 - ・ 東京会工会総会(上野精養軒)
- (4) 九月中旬 ゴルフ大会(栃木ヶ丘G.C.)
- (6) 十月下旬 芋煮会(東京サマーランド)
- (7) 十一月下旬 ゴルフ大会(神奈川方面)
- (8) 一月下旬 顧問・幹事合同役員会

『地引網』総会への参加・不参加を同封の葉書で(五月十日必着)でお送り下さい。

また秋の活動案内をご希望される方は、案内希望欄に○印を付けて下さい。

計 報

平成十四年十月三日

顧問 五ノ井清一氏(16年T卒)

平成十五年二月二十五日

会員 穴澤 啓一氏(36年K卒)

ここに謹んでご冥福をお祈り致しますと共に、心よりお悔やみ申し上げます。

創立百周年記念



創立百周年事務局
根本 一雄
(36年E卒)

平成十四年度、会津工業高校は、明治三十五年の認可以来創立百周年ということで、正門から見わたせる本館四階建ての屋上は『二〇〇二年創立百周年記念事業を成功させよう』という看板を設置して、校内外の創立百周年の記念事業への情宣を致しました。

校内は十月二十六日(土)の記念式典、祝賀会、寄付事業の同窓会館の建設や、協賛事業の記念誌の発行、沿革誌の発行などを旨指して、百周年一色に包まれました。

十月二十六日(土)の記念式典当日は、天候にも恵まれ、東京地区からも、赤津会長ほか多数参加され、同窓生二百五十名含む外部より五百名の方が参加して、総勢千六百名で式典が行われました。

応援団による効果や、ガンバレ応援歌のときは同窓生も一緒に、熱気あるものとなり、盛大に終了致しました。

祝賀会は、午後一時より、ホテル、ニューパレスにおいて、約三百二十名の来賓、旧職員、同窓生が参加して、楽しく、にぎやかに行われました。

東京会工会の赤津会長の乾杯で祝宴が開始され、そこかしこに、百周年を祝う談笑の輪が見られました。

郡山から十数名の特美のコンパニオンも加わり、楽しいものになりました。

東京会工会の元応援団五十嵐昭夫氏の活気あるふりに合わせて、会場一杯に校歌や応援歌も合唱されました。

ともあれ、創立百周年事務局としては、寄付事業の同窓開会の建設、協賛事業の式典、祝賀会、沿革誌、記念誌など、多額の借金を残すことなく、終了できそう、ほっとしているところです。

東京会工会の皆様には、ご協力ありがとうございました。



百周年式典紀行



東京会工会副会長
板橋 桂
(25年T卒)

創立百周年記念式典に、東京会工会として参加しようと声があり、道行きを楽しみにしていたが、最終的には、電車の若松着時間と開会時間差が少なく、忙しくなりそうで中止となった。

二泊の小旅行と考えて、内儀さんと出かけることにする。

新潟からエスエルで会津入りを計画したが、電車賃が高つくので見合わせる。

紅葉には少し早いですが、関越道を小出でて、只見川ラインコースで会津入りとする。

十月二十五日、ロングドライブには、打つつけの晴天である。計画なしの風景にみとれながらの道程は思う程進まず、奥只見ドライブインに四時頃着く。秋の夕暮れドンデン返しで、只見川ラインは夕闇迫る道を只走るのみ。七時頃、東山の宿に着く。

翌朝、風雅堂への道行きを聞いたら、宿のお内儀さんが車で案内すると言う。

東山から天寧への出口は、切り通して広くなったが、昔は崖淵の屈折した道だった。昭和二十六年三月、自動車が転落して、三人の死亡事故があったと聞いていた。

お内儀さんも知っていて、道端に小さな祠を作り、今も供養しているという。

この事故で父親を失った夫人と四姉妹の一家は、転居して消息不明であった。五十年前のことだが、面影は胸に残る。

風雅堂に着く。山からの風が強い。昭和二十年、米軍が連隊の後に駐屯してまもなく、ブルトーザーの音がして、鉄板が敷かれて、滑走路が完成した。飛行機が飛び上がった。それがこの辺からである。

これでは日本は勝てないと納得した。会場での人扱いがうまい。多人数の扱いは先生の必要なテクニクかと回想する。

式典の言葉に、会津魂・白虎隊などが出るのでないかと思っていたが、ない。百年の歴史を土台として、明日への探求姿勢に演出している。会工賛歌が発表されて、合唱の世界に浸り、出席して良かったと思う。

祝賀会場のホテルニューパレスに行く。会場が狭いのか、人が多いのか満員のパーティーで、まさにご盛況そのものである。同窓生でも面識のない人々が集まって簡単に飲談の雰囲気は生じない。むしろ、空々しい空白が生じる。アトラクションがこれ等をカバリーして会場が盛り上がる。御開き近く、米熊に二次会の席準備してある由誘いが来る。三部屋通して三、四十畳あるるか、東京では二次会にこれだけの準備はできない。さすがが城下町である。

夜七時、同級生の席が待っているので盛宴の席を中座する。

在会津の同級生で無尽講の会をつくり、毎月定期会合の由、うらやましい限りである。人格的信頼関係に、相互的な裏付けがなければできない。首都圏では、金銭関係でこれ以上はない。

同級生には、何十年経っても垣根がない。酔い疲れ果てて宿に着いたのは不明である。屋近く、宿を辞す。少し早い味不知柿をお土産に、田島から五十里湖に抜ける。

昭和十九年入学の小生にとって、一つの肩の荷がおりた淋しさも覚える。

東京会工会総会に出席して



東京会工会会計幹事

伊藤 孝行

(38年M卒)

平成十四年六月二十二日(土)東京会工会総会に出席しました。私が本総会に出席するようになって十年以上になります。毎年恒例となった上野の精養軒での開催は、関東一円に住んでいる会員には便利の良いところだと思えます。今回は、會津工業高等学校の学校長、會工同窓会長、東海會工会副会長、近畿會工会会計幹事の方々を来賓として迎え、総勢九十四名の参加により盛大に行われました。



挨拶する赤津会長

総会の司会進行係、33K五十嵐清夫さんによって議事が進められ、校歌斉唱に続き赤津会長の挨拶のあと、田中副幹事長から会務報告、芳賀会計幹事から決算報告があり、静粛のうちに総会を終了しました。

第二部の懇親会は、来賓の紹介と挨拶があり、学校長からは学校の近況を、同窓会事務局より、創立一〇〇周年の準備状況などの報告がありました。

東京会工会総会



御来賓の方々と鏡割り

今年のイベントは、同窓生による獅子舞特別出演として、キングレコードの歌手「織田みさ穂」さんが出演しました。

「獅子舞」を紹介すると、26M木村孝さん一行で、日本航空のエアープレーン(江安風連・江戸の町に安全な風を吹かそう)という獅子舞のグループで、獅子舞は悪魔を払うと言われ、日本航空は一大キャンペーンを実施しました。退職されたあともボランティアとして、老人ホーム、幼稚園、保育園に招かれ楽しみながら活動されているとのこと。

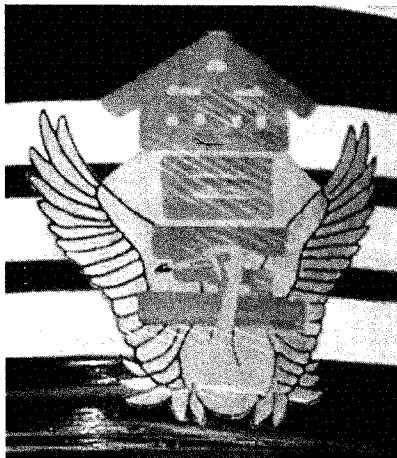


『獅子舞』26M木村 孝さん

「織田みさ穂」さんは、郡山市出身で物心がついた時から吃音で悩んだと言う事です。高校時代、東京のカラオケ大会に何度か出場し、審査員を務めた作曲家の竹田喬さんから「歌の勉強をしてみないか」と声をかけられたのがきっかけで歌手活動をするようになったそうです。『吃音を乗り越え歌手活動』という見出しで読売新聞、福島民報などに掲載されました(平成十四年五月)。



『酔いどれエレジー』を熱唱する織田みさ穂さん



校歌・応援歌を指揮する五十嵐副幹事長



歌手織田みさ穂さんと談笑する会員

野口英世博士と横浜



横浜国立大学名誉教授

小林 義隆

(16年C卒)

会津の細菌学者野口博士の若かった時代、博士は横浜の海港検疫官補となり、短期間でありましたが過ごされたことがあります。明治三十二年、博士二十二歳の時であり、月給三十五円だったという。この短い期間中ペスト愚者を出して我が検疫医の名声を発揮している。従って、細菌検査室の建物はすでに今では老朽化し、市の処分の対象となっておりまして。しかし、地域住民は野口博士の偉大さに感動し、その保存に当たりました。近くに住んでいる一人の主婦を中心とした住民パワーが実を結び、横浜市は最近普通に近い実験室の建物を建てました。場所は京浜急行の「ながはま」という駅で下車し、徒歩十分位歩いた処です。住民は数年にわたり、建物周辺を毎月のように清掃を行い、涙ぐましい程の保存のための努力があったことを忘れることは出来ません。「ながはま」で下車すれば道路周辺には野の花が多く咲きみだれ、散歩に最適であり、会津を思い出す楽しい一時になるに違いありません。

処で話がありますが、博士は細菌学のみならず画、書なども正に素人の域を脱した達人でもありました。現在東山温泉の向滝旅館に博士の書があり額に「美酒佳肴」が掲げられているのを見逃さないでほしいと思います。また、博士が上京するに当たつ

て、自分の生家の床柱に刻んだ決意の文章「志を得ざれば再びこの地を踏まず」を見た時、おそらく誰もが、これを見て感動を覚えるに違いないでありましょう。博士に刺激を受けて医学の道に進んだ若者や科学者を目指して努力を重ねた若者の如何に多くなったことか、その意味でも博士こそ単に研究者だけであつたのではなく、真の偉大な教育者でもあつたと言ふことが出来るでしょう。かつては日本の国力もとぼしく、再三ノーベル賞の候補者になつていたと言われておりますが、残念ながら実ることはありませんでした。なお、青少年向きの伝記をとつてみても、博士程書かれた冊数の多くの伝記はないだろうと言われております。また、遠からずして千円紙幣に顔写真が載せられるようになることは会津人のみならず多くの方が喜ぶに違いありません。

処で、野口博士の死は、その時代は電子顕微鏡が出現せず、黄熱病の病原体である蚊(レプトスピライクテロイデス)が発見出来ない為の災害であつたことである。もし、もつと現在のように顕微鏡の性能が進んでいれば、従つて問題が少なかつたことは周知の事実である。そう言つた問題がたぐさんあるので、従来の学問の発展や分類自体に基本的に医療対策に問題があり、医学だけを分離して考えることはどうかと思われまふ。つまり、工学と医学、又は理学というような総合的な対策技術によつて初めて解決できる場合も決して少なくないものである。有名な水俣病にしても、メチル水銀を発生させない排水のための吸着分離やプロセスの変更などの工学の技術によつて医学的な問題も解決出来たのである。また、現在も問題になつてゐる自動車の排気ガスに基づく大気汚染など、ここで論

ずる迄もなくエンジンの排気の浄化や燃料の変換などによつて解決出来る可能性もあるのである。従来の医学、工学といった分類のこだわりには無理があることを考えれば諸氏の果す今後の役割の如何に大きいか、が伺え知ることが出来るというものであり、各分野の総合的な活躍を期待して止まない。

『勲三等 旭日中綬章 授章』

小林義隆氏は、平成十一年四月勲三等旭日中綬章を授章されました。また、小林氏は過去にも数々の賞を受賞されており、これらの事は、ご本人は勿論、我々同窓生の誇りでもあります。小林氏のさらなる活躍を、同窓生一同、祈念致しております。

(編集委員会)

《略歴》

- 昭和16年 応用化学科卒(湯川村出身)
 - 昭和19年 仙台工業専門学校工業化学卒
 - 兵役
 - 昭和25年 横浜国立大学工学部勤務助手
 - 昭和35年 米国ピッツバーグ大学 公衆衛生学部大学院留学
 - 昭和46年 横浜国立大学工学部教授
 - 昭和48年 川崎市コンビナート安全対策委員会委員長
 - 昭和51年 東京工業大学講師(非常勤)
 - 昭和52年 科学技術庁参与
 - 昭和54年 日本大学理工学部大学院講師(非常勤)
 - 昭和63年 横浜国立大学定年退職
 - 横濱国立大学名誉教授
 - 平成4年 光明理化学工業(株)監査役
- 《表彰》
大河内記念技術賞・通商産業大臣賞
労働大臣功績賞・川崎市長賞

参加者募集!!
東京会工会『貸切!!』

豪快! 地引網!!

三浦海岸でダイナミック体験!! 捕った魚をその場で炭火バーベキュー!!

- 《日時》5月24日(土) 午前10時30分集合(天候不順の場合は、前日迄に連絡します)
- 《場所》レストラン魚敬(TL0468-88-0714 京浜急行三浦海岸駅より徒歩7分 県営有料駐車場あり)
- 《会費》会員・同伴者(大人)4,000円 (中学生以下) 1,000円
- 《申し込み》返信葉書に○を付けて至急お送り下さい(5月10日必着)。
- 《連絡先》会工会事務局 ニッポ一産業(株)内 荒井 044-544-0811

芋煮会の思い出



東京会工会副幹事長
田中 健一
(42年E卒)

中学時代に稲刈りが終わる頃、背負山に登り芋煮会を行った記憶がある。全校生だったか全学年だったか(全学年と言っても百二十余人だが) 忘れたが、芋そのものは毎日のように食べていたからどうって事はないのだが、教室から出られるのが楽しかった。背負山へ登る途中でキノコを探り、それを鍋に入れ皆で食べた。肉は入っていか定かでない。味は醤油味の素朴なもので里芋・大根・ネギなどの具が沢山入っていた。そんな芋煮会の時に、私達にとっては初めての事に出くわした。それは映画の撮影現場だった。芋煮そっこのけにして見ている、先生に怒られたっけ。映画は「青い山脈」で鰐淵晴子が出演しているらしかった。いまだに撮影現場の一コマが頭の片隅に残っている。

東京へ出てきて、もう三十六年。その東京で会津弁を丸出しにして、会津の味を味わうことができるとは思わなかった。東京会工会に参加するようになってからである。例年は登戸の多摩川河畔で開催していたが平成十四年は東京サマーランドでの開催となった。遠いなあと思いつつ、出かけたが五十七名の参加があった。多摩川よりは清潔感があり、設備も整っており気が楽になった。ここでまた初めてのことに出くわした。それは牛肉入り味噌味の芋煮であった。思っ

たより美味しかった。サマーランドは持ち込み禁止であったが、会津の酒、強清水のまんじゅう・にしん・いかの天ぷらを遠慮しながら、堂々と飲み、食べた。やはり会津の味はなつかしい。中学時代の芋煮と味が違うのは、やはり、大人の酒があるからと思うのです。腹一杯に飲んで食べたあとは、五十嵐先輩の音頭で応援歌を大声で歌い解散。帰りの送迎バスの中も和気藹々の楽しい一日でした。



澄みきった秋空の下 芋煮会だよ! 全員集合!!

第13回東京会工会ゴルフ会成績表

H14.9.12 栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部

INスタート 9:10 快晴

	NAME	卒・科	OUT	IN	TOTAL	HC	NET	RANK	次回HC
1組	五十嵐昭夫	35A	46	50	96	15	81	15位	15
	金子 昌輝	32A	57	60	117	34	83	17位	34
	棚木 紹夫	35K	50	53	103	14	89	20位	14
	遠藤 文夫	26E	51	57	108	36	72	3位	㊸
2組	小池 清	34T	42	52	94	15	79	13位	15
	岡村 進	32E	51	53	104	17	87	19位	17
	伊藤 孝行	38M	46	43	89	11	78	9位	11
	日下部敏勝	34T	51	45	96	新バ18	78	11位	㊹
3組	中丸 正弘	31A	39	47	86	6	80	14位	6
	角田 新作	31A	50	40	90	11	79	12位	13
	田中 健一	42E	48	59	107	30	77	8位	30
	角田 至啓	30A	44	47	91	13	78	10位	11
4組	小林 義明	38A	45	42	87	4	83	16位	4
	成田 正明	35K	45	49	94	21	73	4位	21
	小林 智	34R	42	46	88	21	67	準優勝	㊻
	玉川 進	33K	58	54	112	36	73	6位	36
5組	秋山 利光	31C	63	50	113	28	85	18位	28
	小林 啓	36L	46	49	95	新バ19.2	77.8	5位	㊼
	新田 治夫	24T	49	50	99	33	66	優勝	㊽
	大矢 隆	31A	50	51	101	24	77	7位	24

※○印は、HC改正者

ドラコン No.6 伊藤孝行、No.3 小池 清、No.10 角田新作、No.14 小林義明
ニアピン No.2 小林 啓、No.5 成田正明、No.13 小林義明、No.17 小池 清
バスグロ 中丸正弘

第十三回ゴルフ大会に参加して



新田 治夫
(24年T卒)

第十三回東京会工会ゴルフ大会に参加でき、また、優勝できました事、心から御礼申し上げます。
趣味はと聞かれれば、ゴルフと答えるゴルフ大好き人間です。キャリアは三十年余りになりますが、未だボールの行先は玉に聞いてくれと、苦勞の連続です。一人一人の競技者が、いかに大切であるかを教え

られました。
同伴競技者に恵まれての言葉で始まる優勝者の挨拶を、社交辞令くらいにしか思っていました。しかし、優勝という結果をいただけたのは、同伴競技者に教えられ楽しくプレーできたおかげです。心から良き同伴競技者に恵まれての一言です。
表彰式で優勝カップを頂き、良い気分です。帰途につき、今日一日が最良な一日であった充実感と、優勝という私のゴルフ人生に輝かしい日が加わった事を、最高の喜びとして感じているところです。この感触を忘れない、これからもゴルフを続けていこうと思います。
末筆になりましたが、東京会工会関係者のかたがたの心遣いに感謝し、発展を心より御祈り申し上げます。

平成14年度年会費納入者一覧

(平成15年3月31日現在)

卒年氏名	卒年氏名	卒年氏名	卒年氏名	卒年氏名
S 9T 佐々木忠平	S32K 岸 宗男	S29C 岡島 文弘	S30M 石橋 隆衛	S32E 本多 幸夫
S16T 五ノ井清一	S32K 清水 悦美	S29C 田巻 忠雄	S31M 坂内 豊明	S32E 松永 信之
S16T 室井 要	S33K 五十嵐清夫	S29C 物江 宗雄	S33M 大澤 賢二	S33E 五十嵐邦雄
S23T 折笠 昭	S33K 加藤 修次	S30C 国井 成夫	S33M 後藤 徹	S33E 岩澤 毅
S24T 新田 治夫	S33K 玉川 進	S30C 小町谷昌宏	S33M 平田 昭吾	S35E 神 誠喜
S25T 板橋 桂	S33K 出羽 重夫	S31C 秋山 利光	S33M 渡部 功	S36E 大滝 勝
S26T 本間 至	S33K 成田 正明	S32C 五十嵐知雄	S33M 渡部 六郎	S36E 堀 雅宏
S27T 村岡 司國	S33K 長谷川勝人	S33C 穴澤 利	S34M 江川 誠二	S37E 阿部 龍吉
S29T 相田 一夫	S33K 一重 亜男	S33C 金川 和也	S34M 遠藤 赳	S38E 梨子本 紘
S29T 荒木 靖夫	S33K 渡部 貞衛	S33C 桑原 優	S34M 玉川 孝	S38E 平野 正
S29T 室井 耕平	S33K 渡部 善七	S33C 長谷部 博	S34M 中村 賢次	S40E 星 陽一
S30T 長谷川常雄	S34K 荒井 士郎	S34C 遠藤 信孝	S36M 斉田 宗平	S42E 風間 洋治
S31T 千葉 勝夫	S34K 近藤 裕司	S34C 小檜山國男	S36M 高橋 光意	S42E 佐瀬 彰
S34T 五十嵐 勲	S34K 櫻井 靖久	S34C 三澤 忠典	S37M 室井 康男	S42E 田中 健一
S34T 石綿 弘	S34K 辺見 輝夫	S35C 秦 孝夫	S38M 秋山 潔	S44E 穴澤 衛
S34T 猪股 英吉	S34K 堀田 耕	S35C 山内 尚	S38M 伊藤 孝行	S57E 赤羽 憲彦
S34T 大島 諒三	S35K 神林 宏	S37C 佐藤 武	S38M 佐藤 利秋	S40D 大越 則道
S34T 小池 清	S35K 棚木 紹夫	S39C 皆川 平	S39M 古見 四友	S40D 芳賀 博
S34T 沼田紀久弥	S35K 宮下 久	S49C 折笠 昭	S40M 大原 雄三	S46D 星 作美
S34T 日下部敏勝	S36K 加藤 邦夫	S49C 小林 栄	S40M 杉原 努	S25A 石原 貞夫
S35T 福田 弘司	S37K 白井 洋二	S52C 川嶋 静雄	S40M 鈴木 邦男	S27A 鈴木 茂
S20L 大川原 薫	S38K 芳賀 孝雄	S16M 山田 定江	S40M 戸野部武彦	S28A 樽川 明雄
S20L 山田 登	S39K 石本 清八	S17M 中田 宏司	S49M 遠藤 吉秋	S28A 林 紹雄
S21L 鶴川平四郎	S43K 山田 利廣	S17M 渡部 一恒	S61M 高塩 稔	S28A 渡部 保男
S27L 星野 健	S44K 高木 博康	S19M 稲村 和夫	S40F 綿引 重	S29A 杉本 次雄
S32L 藤田 明雄	S47K 北澤 重行	S20M 鈴木 正則	S42F 渡部 寛	S30A 角田 至啓
S35L 芳賀 勝義	S47K 武藤 政明	S23M 諸橋 栄輔	S26E 新國 安男	S30A 渡部 義雄
S39L 佐藤 功	S 7C 二瓶 正	S24M 児島 正俊	S26E 遠藤 文夫	S31A 大矢 隆
S42L 大竹 治郎	S13C 江川 義治	S24M 慶徳 一郎	S26E 管家 忠平	S31A 酒井 兼三
S49L 五十嵐公司	S15C 原 忠伍	S25M 高橋 敏夫	S27E 板橋 亨	S31A 角田 新作
S14K 塩谷 賢二	S16C 遠藤 信夫	S25M 古川 康夫	S27E 清野 吉男	S31A 中丸 正弘
S17K 林 貞吉	S18C 佐藤 弘次	S26M 太田 幸造	S27E 佐藤 達也	S32A 金子 昌輝
S20K 青柳 啓治	S20C 安部 高明	S26M 木村 孝	S27E 新藤 健	S32A 木村 幸弘
S20K 赤羽 恒夫	S20C 木下 繁利	S26M 三瓶 實	S28E 大友昭三郎	S32A 小椋 義昂
S20K 岸 傳三	S20C 郡司 輝良	S26M 秩父 清	S28E 加藤 格司	S32A 宮森 健介
S20K 佐藤 璋三	S21C 郡司 一 亮	S26M 中野 義正	S28E 高橋 和男	S32A 飯沢 建一
S20K 柴山 景介	S21C 山口 悌世	S27M 池田 節雄	S28E 西川 清次	S33A 林 信一
S20K 田場川與咲	S22C 小林 博	S27M 伊勢亀孝明	S28E 武藤 亨	S35A 五十嵐昭夫
S20K 万澤 和禮	S23C 秋山 勇	S27M 江花 源吉	S28E 山浦 國男	S35A 滝沢 勇
S21K 小野 昭	S24C 佐藤 和男	S27M 川島 保	S29E 秋山 尚	S36A 永井 克哉
S21K 樽川 義夫	S24C 蓬田 光雄	S27M 小松 四郎	S29E 千葉 公胤	S37A 細川 明
S23K 小林 泰夫	S25C 赤津 伸雄	S27M 坂内 哲雄	S29E 坂内 寿	S39A 浅井 国明
S27K 室井 正男	S25C 石見 勝男	S27M 佐藤 芳也	S30E 川島 良夫	S39A 渡部 春好
S27K 安積 藤吾	S25C 歌川 晴雄	S27M 田場川善雄	S30E 小林 泰彦	S42A 板橋 三千男
S27K 渡部 藤二	S25C 大腰 久善	S27M 橋本 修	S30E 渡部 一雄	S42A 佐藤 芳昭
S29K 五十嵐政義	S25C 笠間 龍郎	S27M 舟田 昭夫	S31E 磯谷 勝昭	S43A 高橋 富男
S30K 加藤 實	S25C 加藤 昭八	S28M 佐々木三千雄	S31E 金作 等	S45A 菅家 重夫
S30K 坂本 一望	S25C 原田 四郎	S28M 高梨 高	S31E 佐藤 光一	S46A 内芝 良吉
S30K 佐藤 新市	S25C 古市 義男	S29M 菊地 勲	S31E 鈴木 忠恵	S42G 吉原 秀司
S30K 松本 展	S25C 三浦 正裕	S29M 田場川 進	S32E 大堀 孝雄	S45E 宮河 悦子
S30K 村上 謙	S26C 増田 直巳	S29M 長谷川賢三	S32E 岡村 進	(敬称略)
S31K 古川 征一	S26C 吉田 実	S29M 武藤 正義	S32E 小檜山 昇	
S31K 星 定雄	S27C 秋山 利喜	S29M 物江 弥	S32E 菅家 忠佐	
			計	262名

平成14年度東京会工会総会出席者

日時：平成14年6月23日(土) 場所：上野精養軒

(敬称略)

〔御来賓〕 会津工業高校校長 八巻 茂雄
 会工同窓会会長 吉田 一栄(20K)
 東海会工会副会長 水野 正雄(25K)
 近畿会工会会計監事 長谷川雅之(26C)
 同窓会事務局 梨子本 傑(41K)

〔会 員〕

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| T25 板橋 桂 | K30 佐藤 新市 | C20 郡司 輝良 | M 29田場川 進 | E38 梨本 紘 |
| 27 村岡 司國 | 30 村上 謙 | 23 秋山 勇 | 33後藤 徹 | 42 田中 健一 |
| 34 石綿 弘 | 30 加藤 実 | 24 蓮田 光雄 | 33平田 昭吾 | 40 芳賀 博 |
| 34 小池 清 | 31 古川 征一 | 25 石見 勝雄 | 38秋山 潔 | |
| 34 沼田紀久弥 | 31 星 定雄 | 25 歌川 晴雄 | 38伊藤 孝行 | A28 樽川 明雄 |
| 34 五十嵐 勲 | 33 五十嵐清夫 | 25 加藤 昭八 | 38佐藤 利秋 | 28 渡部 保男 |
| 34 日下部敏勝 | 33 一重 亜男 | 25 赤津 仲雄 | 39古見 四友 | 30 角田 至啓 |
| | 33 出羽 重夫 | 27 秋山 利喜 | 40大原 雄三 | 30 渡部 義雄 |
| L20 大川原 薫 | 33 玉川 進 | 29 岡島 文弘 | 40杉原 努 | 31 大矢 隆 |
| 20 山田 登 | 33 成田 正明 | 30 国井 成夫 | 40鈴木 邦男 | 31 角田 新作 |
| 21 鵜川平四郎 | 33 渡部 貞衛 | 30 小町谷昌宏 | 40戸野部武彦 | 32 金子 昌輝 |
| 35 芳賀 勝義 | 33 渡部 善七郎 | 33 金川 和也 | | 32 木村 幸弘 |
| 39 佐藤 功 | 34 荒井 士郎 | 33 長谷部 博 | E 26遠藤 文夫 | 32 宮森 健介 |
| | 34 櫻井 靖久 | | 26管家 忠平 | 35 五十嵐昭夫 |
| K20 青柳 啓治 | 34 辺見 輝夫 | M23 諸橋 栄輔 | 28大友昭三郎 | 35 滝沢 勇 |
| 20 赤羽 恒夫 | 34 堀田 耕 | 26 木村 孝 | 29坂内 寿 | |
| 20 柴山 景介 | 34 堀田 耕 | 27 川島 保 | 30川島 良夫 | |
| 20 田場川與咲 | 39 石本 清八 | 27 田場川善雄 | 32小檜山 昇 | |
| 21 小野 昭 | 47 武藤 政明 | 27 橋本 修 | 32本多 幸夫 | |
| 30 坂本 一望 | | 27 舟田 昭夫 | 36堀 雅宏 | |
| | C20 木下 繁利 | | | |

出席者 94名
(来賓5名含む)

平成14年度決算書

(自 平成14年4月1日 ~ 至 平成15年3月31日)

(単位：円)

	平成14年度予算案	平成14年度決算	比較増減	備 考
前期繰越金	946,224	946,224		
収入の部				
総会会費	900,000	801,000	▲ 99,000	9,000× 89名
年会費	600,000	521,000	▲ 79,000	2,000×260名
芋煮会会費	240,000	214,000	▲ 26,000	1,000× 1名
役員会合同新年会費	240,000	200,000	▲ 40,000	4,000× 52名
同窓会助成金	100,000	100,000	0	1,000× 6名(小人)
雑収入(寄付等)	200,000	248,000	48,000	8,000× 25名
収入合計	2,280,000	2,084,000	▲ 196,000	

支出の部				
総会費	900,000	925,115	25,115	5名(来賓)・89名(会員)
芋煮会費	240,000	257,359	17,359	59名(同伴含)
役員会合同新年会費	240,000	267,359	27,359	25名
通信・印刷費	120,000	106,275	▲ 13,725	
事務用品費	20,000	0	▲ 20,000	
地方同窓会参加費	60,000	114,600	54,600	
役員会会議室代	70,000	53,497	▲ 16,503	
『会工会』だより発行	130,000	122,955	▲ 7,045	
事務局費	100,000	100,000	0	
雑費(振込、送料他)	100,000	78,424	▲ 21,576	
100周年事業に関して	0	500,000	500,000	
支出合計	1,980,000	2,525,584	545,584	
翌期へ繰越	946,224	504,640	▲ 441,584	

編集後記

桜前線も北上し、郷里会津鶴ヶ城も桜が咲き乱れる季節となりました。母校会津工業高校百周年記念行事も滞りなく盛会に終了致し、母校より会員の皆様

のご協力に感謝の意を頂いております。さて、役員会議事録にも記載されています様に赤津会長、板橋・管家両副会長より退任の申し出があり、新たに荒井士郎氏を始とする新執行部が開始する予定です。東京会工会の発展のため、新旧役員一同、全力を尽くしますので、会員の皆様の絶大なご支援、ご協力をお願い申し上げます。